

令和5年1月20日（金） 13時30分～15時30分

第1回大島干潟ブルーカーボン交流会

大島干潟が位置する鼓南地区の地元企業である日本精蠟さんと地元の鼓南中学校の生徒さんとの交流会を開催しました。大島干潟での保全活動に参加していただくと共に、大島干潟のブルーカーボン生態についても学んでいただきました。活動終了後には、干潟で採れたアサリやカキの試食会を行いました。



保全活動体験 被覆網メンテナンス作業

古くなりボロボロになった被覆網の撤去を日本精蠟の社員さんと一緒に行いました。普段の作業では、被覆網を海中地面から剥がすのは、一苦勞で至難の業なんですが・・・。

今日は、多くの若者パワーで、一気に引き上げていただきました。いつもなら1枚剥がすのに30分くらいかかるんですが、あっという間でした。非常にありがたい助っ人登場でした。感謝です。



保全活動体験 アサリ間引き作業、生態系の観察

アサリの間引き作業を中学生に体験していただきました。毎年11月に開催する自然の学校では、小学生に体験していただいておりますが、中学生の方の体験となると、これまでにないような気がします。寒さに負けず、喜んで取り組んでいただきました。

最後に、ブルーカーボン生態系の観察会を行いました。海草類（アマモ、コアマモ）、海藻類（ホンダワラなど）を観察しながら、ブルーカーボンについて、学んでいただきました。



試食会 アサリ汁や焼きカキの試食・クイズによる交流会

干潟での体験活動終了後は、大島市民センターに移動し、アサリ汁や焼きカキを試食しました。大島干潟を育てる会のみなさんの真心がこもった渾身の手料理です。干潟で冷たくなった体が、一気に温まりました。食事の後には、大島干潟に関するクイズを出題して、一日のふりかえりを行いました。



アマモクイズ

アマモは、光合成をして、その数を増やしますが、アマモが、最も生える時期は、一年間でいつ？



アマモの種まきクイズ

アマモを増やすため、アマモの種を海中にまきます。アマモの種まきは、種に何かを混ぜ、それをガーゼに包んで、海に落とします。これは、何でしょう？



アサリの養蚕クイズ

アサリを人工稚貝を干潟で育成するためにツメタガイやカニ等による食害、波浪・流れによる稚貝散逸を防止するため砂浜に被せる網の名前は？



問題例